

上伊那音楽教育研究会

ハーモニー

第5号

令和5年12月22日

文責 村上 莉奈

郡市連合音楽会 開催

10月29日（日）、今年も郡市連合音楽会が伊那文化会館にて開催されました。今年開催は新型コロナウイルスが大分収まってきたかと思いきや…予期せぬインフルエンザの早期大流行で、残念ながら2校の学校が参加することができませんでした。そんな中、7校の小中学校が盛大に合唱を披露してくれました。感想をいただいたので、載せさせていただきます。

小学生 Aさん

今日は郡市連合音楽会でした。前日はめっちゃ楽しみでした。そして、当日はとてもきんちょうしました。でも、なぜか、歌っているときはきんちょうしませんでした。歌っているときは、とっても「楽しい」「うれしい」という気分になっていました。

他校のきれいな歌声を聴くことができよかったですと思います。また「今日から明日へ」をどこかで歌いたいです。

小学生 Bさん

私は郡市連合音楽会にでるためにみんなで伊那市まで行きました。きんちょうしたけれど、けっこう楽しかったです。私たち4年生は、演奏する中では学年がいちばん下でした。中学生や先生たちの歌もすごくよかったです。わたしも、あんなふうにすてきに歌いたいなあ～って思いました。

中学生 Cさん

日曜日に郡市音楽会がありました。初めて他の小学校の合唱を聴きましたが、小学生とは思えない迫力やきれいな歌声で驚きました。3年6組の発表では、これで3年6組の合唱は最後という気持ちがこもっていて、いつも以上に全力で歌うことができました。最後の合唱にふさわしい、とても良い合唱になったと思います。

日曜日の開催ということで、習い事や塾、家庭の都合等で、予定を合わせるのに苦労して参加された先生や児童生徒もいたかと思いますが、出演した児童生徒の感想を見ると、貴重な音楽体験の場であったことは間違いのないと感じました。

参加校の減少や日程のことなど、様々な問課題も見えてきているので、今後に向けて、様々な角度から検討していければと思います。



上伊那教育会合唱団 『くちびるに歌を』

しわすコンサート

12月9日(土)信州高遠美術館にて、4年ぶりとなるしわすコンサートが行われました。上伊那の音楽を愛する先生方や先輩方、ご家族が出演し、美しい音楽や、音、歌声や笑顔に包まれた素敵な時間を過ごさせていただきました。



～プログラム～

♪ HEARTFULL のお二人
ピアノ/連弾
「ハンガリー舞曲第1番・第5番」

♪ はるとみふお～の皆さん
リコーダーメドレー
～風の丘・虹の彼方に・シンコペイテッドロック・荒野のはてに～

♪ SOUTH WIND の皆さん
二重唱
「いのちの歌」「東京フギウギ」

♪ 伊藤家のお二人
ピアノ/独奏「アラベスク第1番」
ピアノ/連弾「花のワルツ」

♪ LOVE FEATHER の皆さん
女声アンサンブル
「おんがく」「鴉」

- ・初めてしわすコンサートを聴かせていただきました。忙しい毎日でも練習する時間をとって、あんなに素敵な演奏をしてくださった先生方に、頭が下がる思いです。美術館という空間がとてもいい響きというもの相まって、温かい口ビーコンサートでした。演奏する人同士も、会場にいる人も一つになることができる音楽っていいな、私もまた音楽を頑張りたいな、と改めて感じることができました。来年は私も参加させていただけたらな、と思いました。演奏をしてくださった先生方、運営をしてくださった先生方、ありがとうございました。(美篤小 矢崎佑奈先生)
- ・「アットホームな雰囲気コンサートでとても心地良かったです。演奏をされた方々から、明日へつながるパワーやエネルギーのようなものをいただきました。来年は私も何かに挑戦してみたいな、という気持ちになりました。」(高遠北小 田中志穂先生)

発表の前のお話の中で、「毎年このコンサートに出演するのを楽しみにしてきた。久しぶりの開催となり、嬉しい。これからも続いてほしい」と話して下さった先輩や「こうして発表の機会があり、自分たちの表現を磨いたり、他の人の表現に触れるのはとても大事なことだと感じた」と話して下さった先生がいらっしゃいました。また、今回の発表の中にあつた、美しいハーモニー、アンサンブルを子どもたちにも聴いてほしいという声も多数ありました。

上伊那音研の先輩方が築き、続けてきてくださったこのコンサートの意味や意義、価値を感じ、考えさせていただく機会となりました。

中心となり企画・運営してくださった東中の伊藤優先生はじめ、音楽会企画部の先生方、素晴らしいひとときをありがとうございました。